

# 真の『絆』とは何か?!

## みんな希望を持ってがんばれと簡単に言わないでほしい

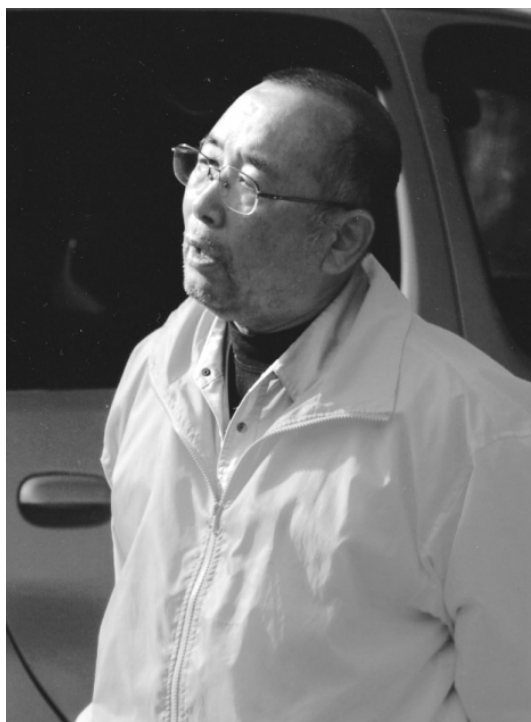
2011年3月11日、大地震と大津波が東北地方を襲った。建交労北陸ダンプ支部執行委員長の辻猛さんは、重機隊を結成。4月30日朝出発、陸前高田に赴く。以来、今回で12回を数える。辻さんをそれほど現地に駆り立てた理由は…。

被災地の現実を見てきた辻さんは訴える。日本中が絆、絆と言うが、本当の意味を解っているのか。日本政府は何を考えているのか。政治家は何を見ているのか。「私にできることは何ですか。また来るから、精一杯生きてほしい」。辻さんが被災地の人たちに言えることはただそれだけ――。

今回、12回目となる陸前高田市での災害復旧ボランティア活動のため取り揃えた物は、コシヒカリ80俵とトイレットペーパー、ティッシュペーパー、洗剤、シャンプー、リンス等々どれも生活必需品、贅品は一つもない。これが、

### 再会に泣きながら抱き合って喜ぶ

現地の人たちが一番必要としている物だからだ。福井県の名産、花らつきょうなど食料品も。また、現地で秋祭りが開催されるといので喜んでもらおうと催し物に「お楽しみ大抽選会」を企画し、テールやコメ、ファンヒーター、電気こたつ、電気カーペットなど景品約150品、40万円ほどを用意した。それに、寒い冬を前に灯油120世帯分、



辻  
猛  
さん

全日本建設交通一般労働組合石川県本部北陸ダンプ支部執行委員長・福井県ボランティア支援センター理事

出発式であいさつする辻猛さん